

岐阜保健大学大学院

看護学研究科看護学専攻(修士課程)

- 看護学研究コース
- 保健師コース
- 助産師コース

GIFU UNIVERSITY OF
HEALTH SCIENCES
GRADUATE SCHOOL OF NURSING

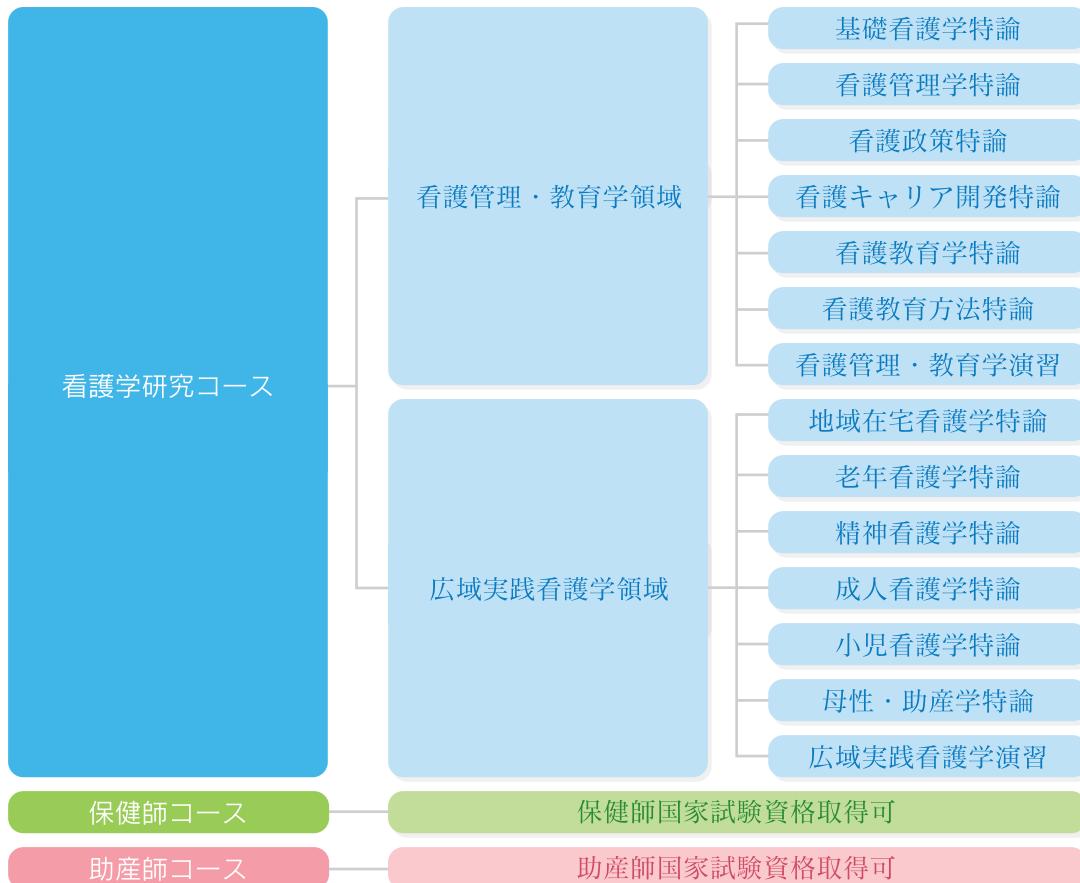
Guide Book
2023

専門的な学びを統合するために各コース、領域において「特別研究」あるいは「課題研究」より、学びを深化させる。「看護学修士」の学位を取得することができます。

岐阜県内初 大学院に 「保健師養成課程」「助産師養成課程」を設置

募集人員	看護学専攻13名(修業年限 2年)	内 訳	看護学研究コース 4名 保健師コース 5名 助産師コース 4名 (女性に限る)
------	-------------------	--------	-----------------------------------------------

専門分野・領域



<認定看護管理者の受験資格について>

本大学院に2年以上在学し、看護管理・教育学領域を含め30単位以上を修得した場合、修士（看護学）の学位が得られます。日本看護協会が定める受験資格を満たすことで、認定看護管理者認定審査（ファーストレベル）受験資格を得ることを計画中です。

学長よりご挨拶



少子高齢化により我が国は医療の変革の時代となり、さらに、近年の世界的なコロナ禍により医療が複雑化しています。こうした社会変移のニーズに対応しうるリーダー的な看護人材の育成と、多様性に応じる質の高い教育研究が求められています。本学の大学院修士課程では、このように変動する医療に対応して、高度な看護実践や看護管理、教育・研究を遂行できる人材を育成し、看護学の理論的基盤の構築や看護実践の質の向上を目指した研究を行う能力の育成を目的としています。キャリアアップを考えている皆さん、是非本学の大学院で、高度な看護実践力の修得や看護の知的探究をしましょう。私たち教職員は共に考えながら、できる限りの支援をいたします。

岐阜保健大学 学長・教授 河田 美紀

建学の精神

命と向き合う心、知識、技を持った地域医療に貢献できる医療人の養成

教育理念

生命の尊厳と人権の尊重を基盤に看護職としての深い学識及び卓越した能力を養い、高度にして専門的な学術の理論及び応用を学修し、その深奥を深め健康課題への取り組みを通して社会貢献と地域の発展に寄与することを教育理念とする。

養成人材像

看護の高度な専門的知識と高い技術を基盤とし、エビデンスに基づいた看護の研究能力を身に付けるとともに、多様かつ幅広い視点から看護の課題解決や改善に取り組める科学的思考力と実践能力、さらに高い倫理観を兼ね備えた、看護実践のリーダー、看護管理者、看護教育者、及び看護専門職として機能できる人材を養成する。

養成する能力

1 看護実践の改善力

看護を提供する場の力動を構造的に把握し、改善に向けて組織的に取り組むことができる能力

2 看護実践を研究につなげる研究基礎力

看護の実践・教育・管理の改善・改革をめざした研究の取り組みができる能力

3 多職種・市民との連携力・調整力

研究的視点をもって多職種・市民と共同してサービスの変革に取り組むことができる能力

4 地域に根ざした質の高い看護実践力の向上

看護現場や教育現場で看護職者のリーダーや教育者として機能できる能力

アドミッション・ポリシー

岐阜保健大学大学院看護学研究科修士課程では、教育目的を理解し、本研究科への入学を希望する次のような学生を求める。

- ① 看護実践力を高め社会貢献したいと考えている者
- ② 看護実践を研究につなげる志を持っている者
- ③ 看護実践の質を高めたいと志向している者
- ④ 看護学研究コースは、医療チームの中で、多職種と連携し高度な専門的知識を發揮して、リーダーシップをとりたいと考えている者
- ⑤ 保健師コースは、地域のマネジメント力を高め、地域住民の健康増進に寄与したいと考えている者
- ⑥ 助産師コースは、母子の健康問題を診断し、地域の周産期医療チームのマネジメントを担いたいと考えている者

看護学専攻 教員体制

看護学研究特論	教授 鈴木 岸子	就任予定者	
看護学研究方法特論	教授 鈴木 岸子	就任予定者	
看護倫理特論	教授 内藤 直子	准教授 平岡 翠	教授 野田みや子
看護理論特論	講師 秋山直美	講師 小野悟	
	講師 梶原志保子	講師 吉崎純夫	
コンサルテーション特論	教授 弥喜田恵子		
保健統計学特論	就任予定者		
フィジカルアセスメント	教授 河田 美紀		
臨床薬理学特論	教授 小萱 康徳		
病態生理学特論	教授 永井 博式	教授 河田 美紀	
英語抄録の書き方	教授 西牟田裕美子	講師 高久道子	
国際保健・災害看護論	教授 西牟田裕美子	教授 船橋香緒里	教授 野田みや子
家族看護特論	教授 野田みや子	教授 鈴木岸子	

看護学研究コース

看護学研究コースの特徴

加速する少子高齢化や自然災害、新種の感染症等により、高度化・複雑化・多様化する役割に対応できる高度な知識や実践能力を有した看護管理職、現場のリーダー、看護教育者の養成を通して地域・社会に貢献していくことをその趣旨・目的としています。

看護学研究コース 看護管理・教育学領域

看護学研究コース 看護管理・教育学 領域	修業年限 2年
	修得単位数 30単位
	学位 修士(看護学)

変化する社会の要請に応える看護の組織化とそれを支える看護職者のキャリア開発、次世代の人材育成のあり方を追究する。併せて行政をはじめとするさまざまな機関における看護政策の策定やその評価、および新しい看護職者の機能や組織化に着目し、看護管理および教育の開発につながる研究を目指す。

養成人材像

本学大学院の人材養成「看護の知識・技術を基盤に看護学における学識を深め、グローバルな視点で看護の問題解決や改善に取り組める科学的思考力と実践能力をもつ、倫理観の高い看護実践のリーダー・管理者・教育者として機能できる人材を養成する」

特徴

看護管理及び看護教育学を専門とする教員と共に学び、探究していくことができる大きな特徴です。地域・在宅看護学、老年看護学、精神看護学、成人看護学、小児看護学、母性・助産学など臨床や地域で活動する看護職の学び直しと研究力を育成します。臨床や地域で活動する看護職の学び直しと研究力の育成を支援する大学院修士課程です。働きながら夜間に学ぶことができます。

修了後期待される役割

- 1) 高度な専門知識と実践能力を有する看護師・保健師・助産師
- 2) 優れた教育能力と研究能力を有す看護教育研究者
- 3) 豊富な看護実践をもとに科学的根拠や理論を活用した看護管理者

看護管理・教育学領域 教員体制

基礎看護学特論	教授 山本 澄子	講師 秋山 直美
看護管理学特論	准教授 永坂 和子	准教授 平岡 翠
看護キャリア開発論	准教授 永坂 和子	准教授 平岡 翠
看護政策特論	教授 石井 英子	教授 船橋香緒里
看護教育特論	教授 矢喜田恵子	講師 秋山 直美
看護教育方法特論	教授 山本 澄子	教授 矢喜田恵子



看護学研究コース 広域実践看護学領域

看護学研究コース 広域実践看護学 領域	修業年限 2年
	修得単位数 30単位
	学位 修士(看護学)

さまざまな臨床臨地の看護実践における新たな看護支援方法を探究する。保健医療福祉政策の動向を見据え、新たな看護ニーズを先取りして看護支援方法の発展を目指す。本領域には、主に健康状態や発達段階等の対象特性ならびに看護援助の特徴を踏まえ、地域や家庭における個人や集団の自主的な予防的取組みへの健康生活支援と複雑な健康問題や障害をもつ個人や家族のQOLを高めるよう療養生活支援の研究を目指す。

養成人材像

本学大学院の人材養成「看護の知識・技術を基盤に看護学における学識を深め、グローバルな視点で看護の問題解決や改善に取り組める科学的思考力と実践能力をもつ、倫理観の高い看護実践のリーダー・管理者・教育者として機能できる人材を養成する」

特徴

本領域には、主に健康状態や発達段階等の対象特性ならびに看護援助の特徴について教員と共に学び、探究していくことができる大きな特徴です。

地域・在宅看護学、老年看護学、精神看護学、成人看護学、小児看護学、母性・助産学など臨床や地域で活動する看護職の学び直しと研究力を育成します

臨床や地域で活動する看護職の学び直しと研究力の育成を支援する大学院修士課程です。働きながら夜間に学ぶことができます。

修了後期待される役割

- 1) 高度な専門知識と実践能力を有する看護師・保健師・助産師
- 2) 優れた看護実践能力と研究能力を有す看護実践者
- 3) 保健医療福祉の様々な領域で看護組織及び看護ケアのマネジメント実践者

広域実践看護学領域 教員体制

地域・在宅看護学特論	教授 栢本千鶴	講師 粟津昌枝	
老年看護学特論	教授 鈴木岸子	講師 粟津昌枝	
精神看護学特論	教授 夢喜田恵子	講師 小野悟	
成人看護学特論	准教授 永坂和子	講師 梶原志保子	
小児看護学特論	准教授 平岡翠	講師 高木由美	
母性・助産学特論	教授 内藤直子	教授 野田みや子	講師 石田美和

大学院生 VOICE



看護学研究コース2年
大阪市立民病院機構
大阪市立十三市民病院 看護部所属
松本尚子さん

看護学研究コース

私は臨床現場で排尿ケアチームを立ち上げました。排尿ケアチーム活動が始まり、チーム全体のレベルアップに悩んでいるとき、岐阜保健大学の先生から、大学院で勉強してみないかと誘われました。入学後は対面授業に加えて、勤務状況に合わせてオンラインと併行しながら看護学専攻科目群の看護専門科目、特別研究、倫理審査方法等をZOOMにより質問・回答・意見交換を行っています。病院の患者様の対応では、患者様の質問や相談に対して大学院で学んだ看護実践と看護理論を活かせることで日々の看護業務が充実しています。また看護研究を通して、今後活かせる看護実践の道筋が見えてきています。仕事との両立は大変ですが、得るものはきっと人生の宝物になると思います。

保健師コース

保健師コースの特徴

保健師は、「地域」を対象としてそこに暮らす人々の健康を共に考え、支える看護職です。しかし、近年取り組むべき健康課題は多岐にわたり、複雑困難になっています。それらに対応できる保健師を大学院で養成します。

修業年限	2年
修得単位数	看護学研究コース30単位 保健師コース33単位 合計63単位
学位	修士(看護学)
取得資格	保健師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格を大学院で取得してみませんか

1学年5人程度の定員に対し4人の教授で支援し、実践力を養います。研究については、研究計画、論文作成から研究発表まで一連の流れの中で研究もできる保健師を育成します。また医療機関勤務等の経験から疑問に思ったこと等を、予防的視点で研究することもサポートします。

修士（看護学）学位と保健師国家試験受験資格が同時に得ることは、学部教育とはひと味ちがう充実感が得られることでしょう。

[保健師コースの養成人材像]

- ①統合された知識、技能、態度に基づき、根拠に基づいた公衆衛生看護専門職として役割を果たす人材。
- ②社会的公正を活動の規範とし、地域、職場、学校での人々の健康な生活と Quality of Life 健康課題対応能力と研究遂行能力のある人材。
- ③健康危機管理能力や健康課題対応能力を学び、研究遂行能力のある人材。
- ④倫理的意思決定能力を備え、地域に貢献できる人間味のある人材。

[保健師コースの特徴]

- ①行政機関、産業保健機関、学校、訪問看護機関等の経験者である教授4人が指導する。2年間で修士課程と保健師課程が同時に修了できる。
- ②大学内のシミュレーションセンターで多職種の機関と協同でマネジメントや保健師のリカレント教育が提供できる。
- ③大学内の研究センターで健康教育と地域組織活動の演習ができ、教員と学生1対1の指導を提供できる。

[修了後に期待される役割]

- ①行政機関、産業保健機関、医療機関、福祉機関で専門職業人としての役割を遂行することができる。
- ②地域の専門機関において、マネジメントやコーディネート力を遂行することができる。
- ③総合的な知識と実践力をもって、地域住民の身近な健康課題の支援活動ができる。

保健師コース長よりご挨拶

少子高齢化を始め、様々な問題が健康格差をもたらしています。国民の抱える健康課題も複雑困難な課題が増加しています。

このような情勢の中、地域住民の健康をまもり、地域ケアシステムの構築に寄与するのが保健師です。保健師には対人保健サービスのみならず、グループ支援、地域支援を柔軟性、マネジメント力をもって地域活動を開拓していきます。

時代と社会のニーズに対応できる保健師の育成を目指し、学んでいきましょう。皆さまのチャレンジをお待ちしています。

保健師コース長 教授 船橋 香緒里



[実習機関]

- | | |
|-------------|-----------------------|
| ① 岐阜県立保健所 | ⑤ 岐阜市小・中学校 |
| ② 岐阜市保健所 | ⑥ 岐阜保健大学保健センター |
| ③ 岐阜市保健センター | ⑦ 岐阜車体工業株式会社 |
| ④ 笠松町保健センター | ⑧ 訪問看護ステーション太陽住宅ケア事業所 |

[将来の展望]

- 保健師免許取得後、
- ・行政機関
 - ・企業などの保健師業務
 - ・大学研究者など

保健師コース 教員体制

公衆衛生看護学	教 授 船橋香緒里	教 授 栄本千鶴	教 授 石井英子
疫学	就任予定者		
保健統計学	講 師 高久道子		
保健医療福祉行政論	教 授 船橋香緒里		
	助 教 棚田恵子		
臨地実習	教 授 船橋香緒里	教 授 栄本千鶴	教 授 石井英子

大学院生 VOICE



保健師コース

私は自身や家族の病気を通して心身ともに健康的に生き、新しい価値を創造したいと考え、10年前に保健師を志しました。大学院では研究心旺盛な先生方のもと、地域において研究心をもった実践家となれるよう、力の限り学んでいきたいと思います。(石井弓子さん)

保健師コース1年
石井弓子さん（写真右）

保健師コース1年
鷺見絢加さん（写真左）

私は現場で看護師として働いているとき、新型コロナウイルスによって社会の在り方が急速に変化し、それに対応する保健師の仕事に非常に惹かれ、本大学院に入学を決めました。大学院に入学し、同じ目標をもつ仲間と出会うことができました。将来、対象の方たちとともに成長していく保健師として働きたいと思います。(鷺見絢加さん)

助産師コース

助産師コースの特徴

めざせ！新しい時代を駆けぬける助産師を
不確実な時代に対応できる助産師…大学院教育で

修業年限	2年
修得単位数	看護学研究コース30単位 助産師コース33単位 合計63単位
学位	修士(看護学)
取得資格	助産師国家試験受験資格

〔助産師コースの養成人材像〕

- ①母性看護・助産学の領域で質の高い実践能力を備え、実践体制の改善や指導的役割を果たす人材。
- ②基礎助産学や周産期医学の新知見を学び、女性のセルフケアや自己決定能力を支援できる人材。
- ③生命の尊厳を基盤に高い倫理観をもち行動できる人材。
- ④持続可能な行動目標に向かい、地域において母子保健の発展に貢献できる人間性豊かな人材。

〔助産師コースの特徴〕

- ① ウィメンズヘルスケアを重視した質の高い助産診断・技術学で実践能力を学ぶことができる。
- ② 2年間で修士（看護学）の学位と助産師国家試験受験資格が同時に取得できる知識を深める。
- ③ 正常な妊娠分娩産じょく新生児のアセスメント能力や助産診断を教授し、ハイリスク時の支援技術や法的書類の出生診断書の記載などを学び、心と身体の支援技術を教授する。
- ④ 助産学の学習や研究後、施設の助産部門の統括管理や助産所の開設・経営を目指し母子保健システムの発展に寄与できる実践能力と統率力の基礎的能力を修得できる。
- ⑤ 大学内に最新設備のシミュレーションセンターや研究センターで地域・多職種と協働で切れ目のない母子と家族支援をネウボラ的母子支援の演習ができる。



助産師コース長よりご挨拶

先行き不透明な新型コロナウイルス感染が拡大する社会であっても、女性による出産は続いており、助産師は寄り添っています。1年の8月から実習が始まりますので、母子の安全が守られ、妊産婦や家族、そして臨地の助産師から信頼が得られるよう努力しています。

本学の大学院生達は、ヒトの始まりである「赤ちゃんの心と体」をみつめ、助産学診断と助産の技を日々培っています。あなたも、私たちと一緒に「助産師への道」をめざし、大学院助産師コースで、新たな知見を得るために、あなたの人生に目標を一つ書き添えてみませんか。

どうぞ、本学を受験されることを心よりお待ちしています。

助産師コース長 教授 内藤 直子



[修了後に期待される役割]

- ①女性と子ども、その家族に寄り添い命を守り健康増進へ創造的に行動できる。
- ②グローバルで多様な視野から、超少子化社会における母子保健活動に貢献できる。
- ③助産の専門的な実践能力から多職種と協働し母子とその家族の健康課題の解決に取り組める。

[実習施設]

- | | |
|-----------------|------------------|
| ①名古屋大学医学部附属病院 | ⑤星野助産院 |
| ②名古屋第一赤十字病院 | ⑥社会医療法人杏嶺会 一宮西病院 |
| ③社会福祉法人宏潤会 大同病院 | ⑦JA岐阜厚生連 中濃厚生病院 |
| ④広川レディースクリニック | ⑧岐阜保健大学研究センター |

[将来の展望]

病院や診療所、助産所、保健所、その他のサービスの場での助産業務や大学研究者など

助産師コース 教員体制

基礎助産学	教授 内藤直子	教授 野田みや子	教授 太田美智男
	教授 河田美紀	教授 永井博式	講師 近藤邦代
助産診断・技術学	教授 内藤直子	教授 野田みや子	講師 石田美知
	教授 豊田育子	教授 西牟田裕美子	
地域母子保健	講師 近藤邦代	講師 高木由美	
	教授 内藤直子	講師 高久道子	
助産管理	教授 内藤直子	教授 野田みや子	教授 国澤英雄
	講師 高久道子		
臨地実習・助産学実習	教授 内藤直子	教授 野田みや子	講師 石田美知
	講師 近藤邦代	講師 高木由美	

大学院生
VOICE



助産師コース2年
尾下千翔

助産師コース

私は、岐阜大学医学部看護学科を卒業し、岐阜大学医学部附属病院の新生児集中治療部で4年間看護師として働いていました。女性の大きなライフイベントのひとつである妊娠・出産に深くかかわる助産師になりたいと学生時代から思っていました。本学に大学院の助産師コースが開設されるのを知り、大学院で助産師の勉強をしたいと思いすぐ受験しました。大学院では、助産師課程33単位の科目の講義を受けたり、修士論文の研究に日々奮闘しています。大学内のシミュレーションセンター、大学発ネウボラ的継続母子支援センターで自主的な演習や、特別研究では臨床経験豊富な他専攻の院生から刺激を得て知識を深めています。今後、幅広い視野と専門性高く倫理や理論に基づきSDGs助産ケアをめざし2年間頑張りたいと思います。

大学院看護学研究科 教員紹介

看護学研究コース



学長・教授 河田 美紀 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士（医学）

研究テーマ等

主に高齢者の呼吸器系の疾患と治療との関連、予後からみた肺がん検診の意義についての研究



顧問・教授 永井 博式 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士（薬学）

研究テーマ等

医療・看護現場にみられるアレルギー疾患の発症機序と予防・ケア、アレルギー疾患治療薬の開発・適正使用に関する基礎的研究、免疫学を基礎とした予防医学に関する研究



教授 小萱 康徳 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士（歯学）

研究テーマ等

看護の視点からみた人体構造機能学、フィジカルアセスメントに対する人体構造機能学の教育効果、血中カルシウム濃度調節機構と脊椎動物の系統進化論並びに個体発生学の研究



教授 栄本 千鶴 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士（学術）

研究テーマ等

地域住民の自助・互助のリテラシーによる在宅療養継続支援、地域住民へのセルコントロールについての介入研究



教授 西牟田 祐美子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 Doctor of Philosophy
in Sociology (英國)

研究テーマ等

看護の現場における社会心理的解決法、ホスピス現場のスピリチュアルケアの実践的探索、ヨーロッパにおける近現代看護事業の要因・課題についての研究



教授 畠 吉節未 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士（保健学）

研究テーマ等

災害看護実戦行動（病院／在宅）の分析と理論構築、災害時のリスクマネジメントモデルと社会システムの構築、災害看護学習プログラムの開発と評価方法の開発についての研究



教授 船橋 香緒里 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士（看護学）

研究テーマ等

・保健師教育に関する研究
・防災、減災を意図した保健師活動に関する研究



准教授 永坂 和子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士（医療・福祉マネジメント）

研究テーマ等

排泄障害に関連した看護、ケアミック病院における看護管理、ケアの質を高めるためのマネジメント研究



准教授 三浦 昌子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士（総合看護学）

愛知県看護協会会長

看護職のキャリア構築、臨床と大学との連携からのキャリアのあり方、在宅高齢者夫婦世帯における行動変容をもたらす継続可能な転倒予防プログラムの開発についての研究



コース長・教授 夢喜田 恵子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士（社会福祉学）

研究テーマ等

精神障害をもつ当事者および家族の支援、看護職のメンタルヘルス、看護におけるグループアプローチについての研究



副学長・教授 石井 英子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士（学術）

研究テーマ等

公衆衛生看護活動の実践を通して、地域の健康増進システムの開発・主に外国人の結核状況の分析、ダブルケアにおける保健師の役割、ALS を支えるケアシステム支援に関する研究



教授 鈴木 岸子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士（看護学）

研究テーマ等

・家族介護者の介護負担に関する研究
・介護予防・日常生活支援総合事業に関する研究
・認知症の方への意思決定支援に関する研究



教授 内藤 直子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士（医学）

研究テーマ等

リプロダクティブ・ヘルスから周産期や子育て期女性ケアと支援やケア評価、産褥リラックスケアのプログラム開発・システム開発、不妊女性と低出生体重児の家族看護についての研究



教授 野田 みや子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 博士（心身健康科学）

研究テーマ等

マタニティ・ヨーガの妊娠分娩への影響、小児虐待・小児の入院環境、助産師の灾害支援に関する研究



教授 山本 澄子 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士（学術）

研究テーマ等

看護基礎教育の技術習得法、看護学生の自尊感情の変容と学習への影響、看護職と看護教育に関する研究



准教授 平岡 翠 特別研究、課題研究
担当教員

学位 修士（看護学）

研究テーマ等

・看護管理者のコンピテンシー向上、看護職のレジリエンス向上に関する研究
・母親の子育てに関する不安、子どもへのプレバレーションに関する研究



講師 秋山 直美

学位 博士（保健学）

研究テーマ等

・医療の質評価に関する研究
・医療安全に関する研究

**講師 粟津 昌枝****学位** 修士(医療・福祉マネジメント)**研究テーマ等**

- ・自治体保健師のキャリア形成に関する研究
- ・親子の絵本の読み聞かせと育児行動や児の精神発達に及ぼす影響

**講師 梶原 志保子****学位** 博士(医学)**研究テーマ等**

- ・看護と工学の学際領域に関する研究

**講師 吉崎 純夫****学位** 博士(医学)**研究テーマ等**

- ・術後急性期の看護観察に関する研究
- ・ICT機器を取り入れた看護実践に関する研究

**教授 太田 美智男****学位** 博士(医学)**研究テーマ等**

- ・感染症・感染管理・栄養などの基礎から臨床について広く研究。さらに医療安全にも関心をもっています

**教授 豊田 育子****学位** 修士(人的資源)**研究テーマ等**

- ・グローバルで多様な視野から、超少子化社会に於ける母子保健活動に関する研究

**講師 小野 智****学位** 修士(看護学)・精神看護専門看護師**研究テーマ等**

- ・行動化のある患者の行動の背景にある体験や想いに寄り添う看護のあり方、精神疾患を抱える患者とその家族への支援についての研究

**講師 高久 道子****学位** 修士(看護学)**研究テーマ等**

- ・HIV感染症の予防に関する研究
- ・在日外国人の健康課題に関する研究

**助教 森田 恵子****学位** 修士(看護学)**研究テーマ等**

- ・在宅看護学教育に関する研究
- ・教育開発研究

**教授 河田 好泰****学位** 学士(医学)**研究テーマ等**

- ・職業性腰痛の発生過程、原因及び治療効果の研究
- ・ロコモティブシンドrome予防と啓発活動の研究

**教授 國澤 英雄****学位** 博士(工学)**研究テーマ等**

- ・医療経営・看護マネジメントなどの研究

保健師コース**コース長・教授 船橋 香緒里** 特別研究、課題研究担当教員**学位** 修士(看護学)**研究テーマ等**

- ・保健師教育に関する研究
- ・防災、減災を意図した保健師活動に関する研究

**副学長・教授 石井 英子** 特別研究、課題研究担当教員**学位** 修士(学術)**研究テーマ等**

- ・公衆衛生看護活動の実践を通して、地域の健康増進システムの開発・主に外国人の結核状況の分析、ダブルケアにおける保健師の役割、ALSを支えるケアシステム支援に関する研究

**教授 栗本 千鶴** 特別研究、課題研究担当教員**学位** 博士(学術)**研究テーマ等**

- ・地域住民の自助・互助のリテラシーによる在宅療養継続支援、地域住民へのセルフコントロールについての介入研究

助産師コース**コース長・教授 内藤 直子** 特別研究、課題研究担当教員**学位** 博士(医学)**研究テーマ等**

- ・リプロダクティブ・ヘルスから周産期や子育て期女性ケアと支援やケア評価、産婦リラックスケアのプログラム開発・システム開発、不妊女性と低出生体重児の家族看護についての研究

**教授 野田 みや子** 特別研究、課題研究担当教員**学位** 博士(心身健康科学)**研究テーマ等**

- ・タニティ・ヨーガの妊娠分娩への影響、小児虐待・小児の入院環境、助産師の災害支援に関する研究

**講師 石田 美知****学位** 修士(人間文化)**研究テーマ等**

- ・看護学生の死生観、産後ケアに関する研究
- ・子育て支援、ジェンダーに関する研究

**講師 近藤 邦代****学位** 修士(教育学)**研究テーマ等**

- ・産科的疾患に関するバイオインフォマティクスアプローチ
- ・ライフサイクル各期の健康教育
- ・看護職育成に関連した研究

**講師 高木 由美****学位** 修士(看護学)**研究テーマ等**

- ・妊娠期、産後のマイナートラブル、妊娠期・産後の睡眠の実態、産前産後の健康教育に関する研究

令和5年度 大学院入学試験

1. 募集人員 看護学専攻 13名 (修業年限 2年)

(内訳) 看護学研究コース 4名 ・ 保健師コース 5名 ・ 助産師コース 4名 (女子に限る)

※長期履修制度…通常の修業年限は2年間ですが、仕事などと両立しながら学業にじっくりと取り組みたい方に配慮した制度です。在学可能期間(4年間)の範囲内で、1年単位で履修期間を定めることができます。

[社会人特別選抜について]

社会人特別選抜に出願することができる者は、通算1年以上(令和5年3月31日までの見込みを含む)の実務経験を有する者(注:実務経験とは保健師、助産師、又は看護師にいずれかの免許を取得したうえ、看護職として携わった経験のことを言う)とする。

2. 入試日程

入試区分	出願期間	試験日	試験地	合格発表日
大学院入試Ⅰ期	10/3(月)～10/11(火)必着	10/16(日)	本学	10/20(木)
大学院入試Ⅱ期	1/5(木)～1/11(水)必着	1/15(日)	本学	1/19(木)
大学院入試Ⅲ期	2/6(月)～2/14(火)必着	2/19(日)	本学	2/24(金)

3. 選考方法

①小論文(英文読解含む)

②専門科目(志望領域を選択して解答する)

③口述試験(これまでの研究の概要、今後の方向性を口頭発表する)

※社会人特別選抜の受験者は、①小論文試験が免除となります。

個別の入学資格審査について

本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者であって、入学までに22歳に達する者(看護系、看護師の養成課程の短期大学(専攻科を含む)、専修学校、各種学校等の卒業者・修了者等大学卒業資格を有していない者であっても、看護師としての臨床経験1年以上を本研究科において個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者)を対象に個別の入学資格審査を行います。申請に関わるスケジュールは、学生募集要項を参照してください。

入学初年次納入金

		看護学研究コース	保健師コース	助産師コース
入学金	入学年次	200,000円	200,000円	200,000円
授業料		600,000円	700,000円	700,000円
施設設備費	年間	200,000円	200,000円	200,000円
教育充実費		—	100,000円	300,000円
入学初年次合計		1,000,000円	1,200,000円	1,400,000円

Access map

岐阜保健大学

※乗り換え時間は含まず、最短時間を示しています。

名古屋	JR、名鉄 約18分
一宮	JR、名鉄 約7分
岡崎	JR 約52分
多治見	JR 約54分
米原	JR 約43分

岐阜バスで
約18分

